

## 生活・総合的な学習の時間ワーキンググループ

生活・総合的な学習の時間ワーキンググループにおける検討事項  
資質・能力の三つの柱に沿った、小・中・高を通じて生活科にお  
いて育成すべき資質・能力の整理（素案）

生活科の学びのプロセスと育成すべき資質・能力の関係（案）

幼児教育と小学校教育の資質・能力における接続について（案）

スタートカリキュラムのイメージ図（案）

資質・能力の三つの柱に沿った、小・中・高を通じて総合的な学  
習の時間において育成すべき資質・能力の整理（素案）

探究のプロセスと育成すべき資質・能力の関係（案）

カリキュラム・マネジメントのイメージ

## 生活・総合的な学習の時間ワーキンググループにおける検討事項

### 【生活科について】

1. 「生活科」を通じて育成すべき資質・能力について
  - ・ 育成すべき資質・能力の可視化について
    - ）何を知っているか、何ができるか（個別の知識・技能）
    - ）知っていること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）
    - ）どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等）
  - ・ 生活科の内容の構成要素等（学年目標を構成する項目、内容構成の基本的な視点と具体的な視点、内容の構成要素と階層性、学習対象等）と、論点整理で示された育成すべき資質・能力の三つの柱との関係について
  - ・ 中学年以降の各教科等とのつながりについて
  - ・ 低学年における他教科等との関連について
2. 幼児教育との円滑な接続を図るスタートカリキュラムの中核となる教科としての位置付けについて
  - ・ カリキュラム・マネジメントの視点からスタートカリキュラムの在り方について
  - ・ 幼児教育との接続及び、他教科等との連携の在り方について
  - ・ 幼児期の終わりまでに育てほしい姿と生活科において育成する資質・能力との関連性について

### 【総合的な学習の時間について】

1. 「総合的な学習の時間」を通じて育成すべき資質・能力の明確化について
  - ・ 各教科等の学習を踏まえた上で、総合的な学習の時間を通じて育成すべき資質・能力について
  - ・ 発達の段階に応じた育成すべき資質・能力について
  - ・ 発達の段階に応じて身に付けるべき学び方やものの考え方の明確化について
2. 教育課程全体における「総合的な学習の時間」の意義について
  - ・ 各教科における学習で身に付けた資質・能力を相互に関連付けた教科横断的な学習を行う時間としての意義
  - ・ 各教科等単独では取り組むことの難しい現代的な課題の学習を行う時間としての意義
  - ・ 高等学校教育において、より探究的な学習活動を重視する視点からの「総合的な学習の時間」の在り方について

資質・能力の三つの柱に沿った、小・中・高を通じて  
生活科において育成すべき資質・能力の整理（素案）

平成28年3月8日  
教育課程部会  
生活・総合的な学習の時間  
ワーキンググループ  
資料2

	<p>個別の知識や技能の基礎 (生活の中で、豊かな体験を通じて、何を感じたり、何に気付いたり、何がわかったり、何ができるようになるのか)</p>	<p>思考力・判断力・表現力等の基礎 (生活の中で、気付いたこと、できるようになったことなどを使って、どう考えたり、試したり、工夫したり、表現したりするか)</p>	<p>学びに向かう力、人間性等 (どのような心情、意欲、態度などを育み、よりよい生活を営むか)</p>
<p>生活 小学校</p>	<p>具体的な活動や体験を通して獲得する、自分自身、社会事象、自然事象に関する個別的な気付き</p> <p>具体的な活動や体験を通して形成する、自分自身、社会事象、自然事象に関する関係的な気付き</p> <p>具体的な活動や体験を通して身に付ける習慣や技能</p>	<p>身体を通して関わり、対象に直接働きかける力</p> <p>比較したり、分類したり、関連付けたり、視点を変えたりして対象を捉える力</p> <p>試したり、工夫したり、予測したり、見通しを持ったりして創り出す力</p> <p>伝えたり、交流したり、振り返ったりして表現する力</p>	<p>身近な人々や地域に関わり、集団や社会の一員として適切に行動しようとする態度</p> <p>身近な自然と関わり、自然を大切にしたり、遊びや生活を豊かにしたりしようとする態度</p> <p>自分のよさや可能性を生かして、意欲と自信をもって生活しようとする態度</p>

# 生活科の学びのプロセスと育成すべき資質・能力の関係(案)

平成28年3月8日  
教育課程部会  
生活・総合的な学習の時間  
ワーキンググループ  
資料3

思いや願いを持つ

活動や体験をする

感じる・考える

表現する・行為する

\* 実際の学習活動は一体的に行われ、体験と表現が繰り返される

思考力・判断力・表現力等

対象に関心を持つ  
身体全体で対象と関わる  
自ら対象に働きかける

比較したり、分類したり、関連付けたり、視点を変えたりして対象を捉える  
試したり、工夫したり、予測したり見通しを持ったりして創り出す

伝えたり、交流したり、振り返ったりして表現する  
生活に生かしたり、生活を豊かにしたりする

学びに向かう力・人間性等

探究心 地域への愛着 適切な関わり 公共意識 安全意識 (主に社会との関わり)

好奇心 自然との触れ合い 感性 生命尊重 没頭 創造性 (主に自然との関わり)

意欲 自信 成長 自分らしさ 感謝 (主に自分自身)

個別の知識・技能

社会、自然に対する個別的な気付き  
(例: 学校生活を支えている人々がいること、季節によって生活の様子が変わること など)

社会・自然に対する関係的な気付き  
(例: 空間の中でつながり関わっていること、きまりや一定の変化があること など)

自分自身への気付き  
(例: 自分自身が成長したこと、役割が増えたこと など)

具体的な活動や体験を通して身に付ける習慣や技能(例: 生活のリズム・病気の予防・ルール・マナー、道具を使って物を作る・動植物の世話ができる など)

# 生活科の学びのプロセスと育成すべき資質・能力の関係(案)

思いや願いを持つ

活動や体験をする

感じる・考える

表現する・行為する

\* 実際の学習活動は一体的に行われ、体験と表現が繰り返される

うわー。きれいな花。育てて  
みたい。

葉っぱがだん  
だん大きくな  
ってきたぞ。  
蔓も伸びてき  
た。毛も生え  
ているぞ。

アサガオは、  
どんな気持ち  
かな。私のお  
世話をことを  
どう思ってい  
るのかな。

水をしっかりあげて、  
日の当たるところに  
置いておくと、大きく  
育ちます。毎日のお  
世話が大切です。私  
は、忘れずに毎日  
のお世話をすることが  
できました。アサガ  
オと一緒に私も大き  
くなりました。

カッコいいロケット  
だなあ。飛ばして  
みたい。作りた  
いな。

この輪ゴム  
はどうなっ  
ているのかな。  
高く飛ばすに  
はどうすれば  
いいのかな。

なるほど、わか  
ったぞ。輪ゴム  
の巻き方や伸ば  
し方でロケットの  
飛ぶ高さが違  
うみたいだぞ。別  
の方法でも比べ  
てみよう。

輪ゴムをたくさん巻くとロケットは遠くに飛びました。  
輪ゴムを長く伸ばしたときも遠くに飛びました。きまり  
があるみたいです。がんばって作ったら、すごい  
ロケットになりました。楽しかったので、また、やって  
みたいです。

町探検、楽  
しそうだ。早  
く行きたい  
な。

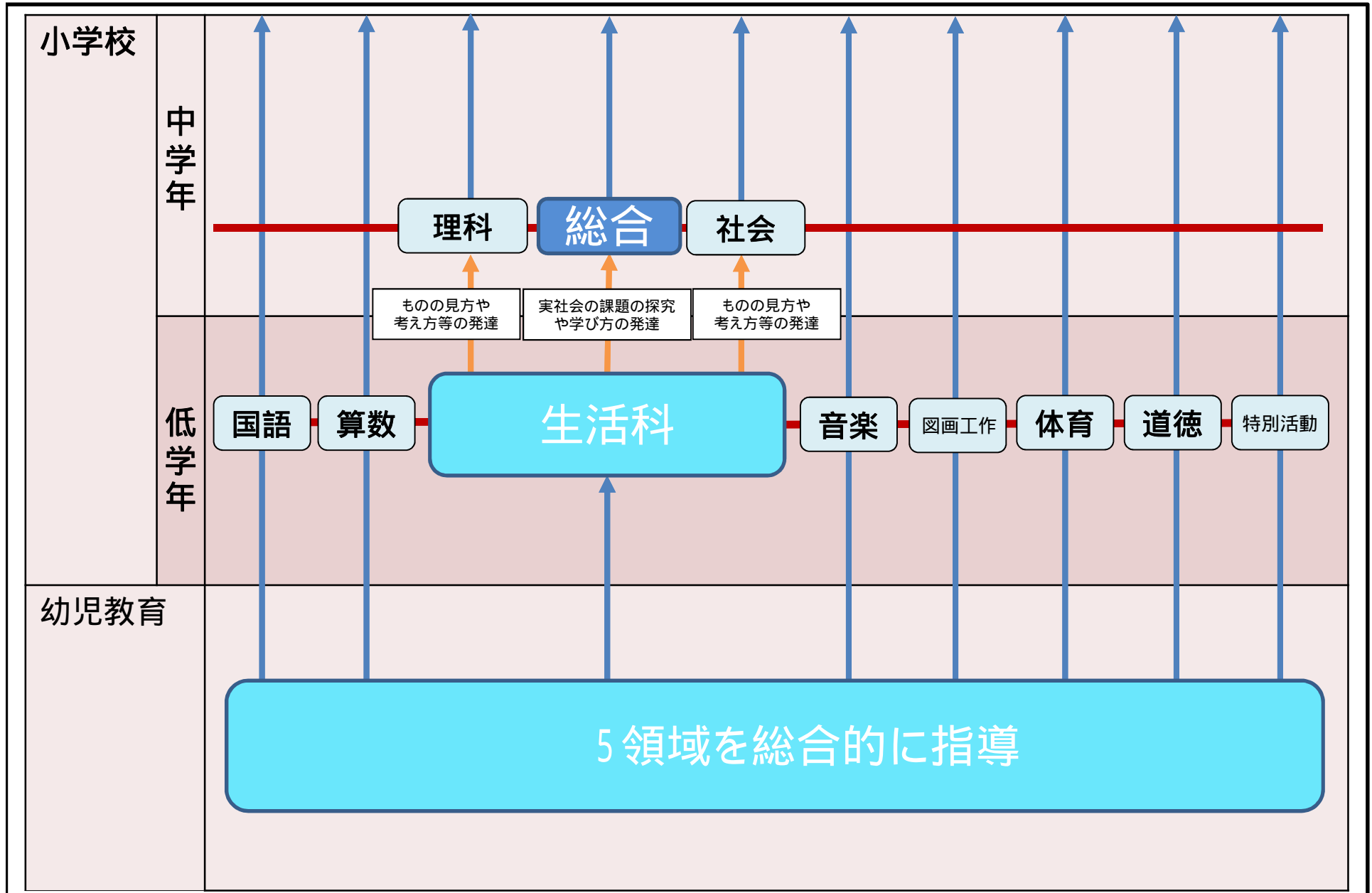
町探検に  
行ってきま  
した。町の  
人に親切に  
してもらっ  
て、とても  
楽しかった  
よ。また、  
出かけた  
いな。

私たちの町にはいろいろなお店が  
あるんだな。似たお店もあることが  
分かったよ。働いている人もたく  
さんいて、みんな優しくしてくれま  
した。

みんなの地図を一つにまとめて大きな町の地  
図にしたら、たくさんの発見がありました。町が  
広いこと、たくさんの道がつながっていること  
にびっくりしました。大人の人たちが、僕たちを  
守ってくれていることもわかりました。とても  
嬉しい気持ちになりました。

# 幼児教育と小学校教育の資質・能力における接続について（案）

平成28年1月12日  
教育課程部会  
生活・総合的な学習の時間  
ワーキンググループ  
資料2



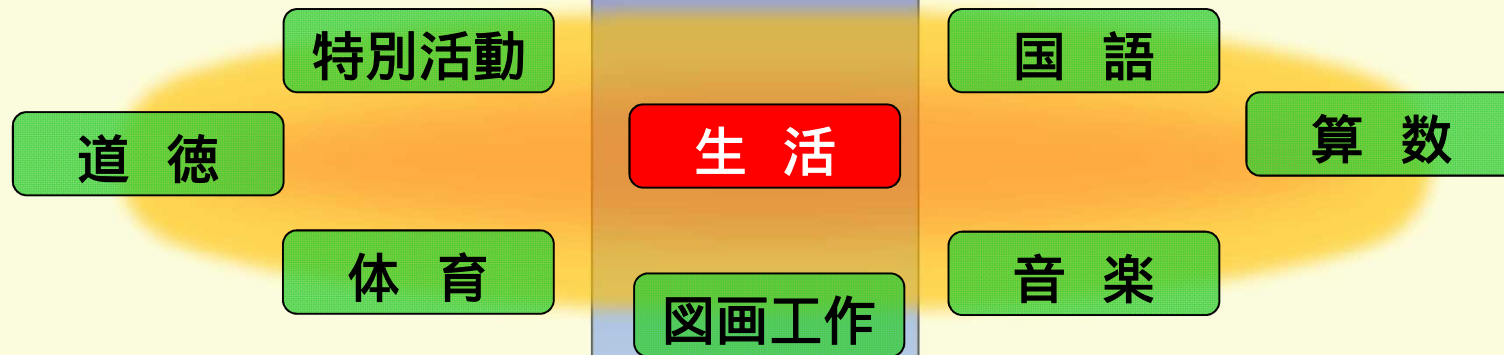
# スタートカリキュラムのイメージ図(案)

平成27年12月8日  
 教育課程部会  
 生活・総合的な学習の時間  
 ワーキンググループ  
 資料3

## 小学校低学年

### スタートカリキュラム

スタートカリキュラムの実施により、幼児期の学びからの円滑な接続が図られ、児童が安心して小学校生活をスタートすることができる。また、幼児期からの学びを生かした指導が可能となり、児童が意欲や自身をもって活動し、6年間を通してよりよく成長していくことが期待される。



## 幼児教育

### 幼児期の終わりまでに育ってほしい幼児の具体的な姿( )

健康な心と体	自立心	協同性	道徳性の芽生え	規範意識の芽生え	いろいろな人とのかかわり
思考力の芽生え	自然とのかかわり	生命尊重・公共心等	数量・図形・文字等への関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現

### 5領域

健康

人間  
関係

環境

言葉

表現

資質・能力の三つの柱に沿った、小・中・高を通じて  
総合的な学習の時間において育成すべき資質・能力の整理（素案）

平成28年3月8日  
教育課程部会  
特生活・総合的な学習の時間  
ワーキンググループ  
資料4

国が定める目標及び各学校の教育目標に基づき各学校において設定

	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力等 教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること、できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか)
高等学校	<p>横断的・総合的な学習や探究的な学習を通とおして獲得する知識（及び概念）</p> <p>横断的・総合的な学習や探究的な学習をとおして獲得する技能</p> <p>学ぶことの意義や価値の理解</p>	<p>探究的な学習を通して身に付ける課題を解決する力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題設定の力</li> <li>・収集分析の力</li> <li>・思考判断の力</li> <li>・表現省察の力 など</li> </ul>	<p>実社会、実生活における課題に真摯に向き合い、適切な方法で主体的・協同的に解決しようとする態度</p> <p>自分の特徴を生かし、異なる意見や考えを受け入れながら、当事者意識と責任感をもって計画的に取り組もうとする態度</p> <p>自分の生活の改善を継続したり、課題の解決に向けて多様な社会活動に当事者意識をもって参画したりしようとする態度 など</p>
中学校	<p>横断的・総合的な学習や探究的な学習をとおして獲得する知識（及び概念）</p> <p>横断的・総合的な学習や探究的な学習をとおして獲得する技能</p>	<p>探究的な学習を通して身に付ける課題を解決する力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題設定の力</li> <li>・収集分析の力</li> <li>・思考判断の力</li> <li>・表現省察の力 など</li> </ul>	<p>実社会、実生活における課題に向き合い、主体的・協同的に解決しようとする態度</p> <p>自分のよさを生かし、異なる意見や考えを受け入れながら、責任をもって計画的に取り組もうとする態度</p> <p>自分の生活を改善したり、課題の解決に向けて社会活動に参画したりしようとする態度 など</p>
小学校	<p>横断的・総合的な学習や探究的な学習をとおして獲得する知識（及び概念）</p> <p>横断的・総合的な学習や探究的な学習をとおして獲得する技能</p>	<p>探究的な学習を通して身に付ける課題を解決する力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題設定の力</li> <li>・収集分析の力</li> <li>・思考判断の力</li> <li>・表現省察の力 など</li> </ul>	<p>実社会、実生活における課題を、力を合わせて解決しようとする態度</p> <p>自分らしさを発揮し、異なる意見や考えを受け入れながら、目標に向けて取り組もうとする態度</p> <p>課題の解決に向けて地域の活動に参加しようとする態度 など</p>

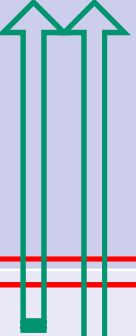


教育課程全体におけるアクティブ・ラーニングの視点での学習活動を支える



# 探究のプロセスと育成すべき資質・能力の関係(案)

平成28年3月8日  
 教育課程部会  
 生活・総合的な学習の時間  
 ワーキンググループ  
 資料5

## 小学校

	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現
学習方法 	問題状況の中から課題を発見し設定する 解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てる	手段を選択し、情報を収集する 必要な情報を収集し分析する	問題状況における事実や関係を把握し理解する 多様な情報の中にある特徴を見付ける 課題解決を目指して、事象を比較したり、関連付けたりして考える	相手や目的、意図に応じて分かりやすくまとめ、表現する 学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとする
探究活動と自分自身 	課題の解決に向けて探究活動に主体的に取り組もうとする(主体性) 自分らしさを発揮して探究活動に向き合い、課題解決に向けて取り組もうとする(自己理解) 探究的な課題解決の経験を自信につなげ、次の課題へ進んで取り組もうとする(内面化)			
探究活動と他者や社会 	課題の解決に向けて探究活動に協同的に取り組もうとする(協同性) 異なる意見や他者の考えを受け入れながら探究活動に向き合い、目標の達成に向けて取り組もうとする(他者理解) 探究的な課題解決が実社会・実生活への興味・関心へとつながり、進んで地域の活動に参加しようとする(社会参画、社会貢献)			

知識

実社会の課題に関する事実的知識( )の獲得

概念的知識( )の形成

総合的な学習の時間で扱う内容は各学校において定めることとなっているため、知識の具体は各学校において異なる。

技能

課題設定のスキル

情報収集のスキル

思考のスキル

表現のスキル

(比較・分類・関連付け)

知識は、学校種が上がるほど高度化・構造化する

技能は、思考スキルを中核とし、学校種が上がるほど自覚化・脱文脈化する

# 探究のプロセスと育成すべき資質・能力の関係(案)

## 中学校

	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現
学習方法	複雑な問題状況の中から適切に課題を設定する 仮説を立て、検証方法を考え、計画を立案する	目的に応じて手段を選択し、情報を収集する 必要な情報を収集し、多角的に分析する	複雑な問題状況における事実や関係を把握し、自分の考えを持つ 視点を定めて多様な情報を分析する 課題解決を目指して、事象を比較したり、因果関係を推測したりして考える	相手や目的、意図に応じて論理的に表現する 学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かす
探究活動と自分自身	課題に誠実に向き合い、課題の解決に向けて探究活動に主体的に取り組もうとする(主体性) 自分のよさを生かしながら探究活動に向き合い、責任をもって計画的に取り組もうとする(自己理解) 探究的な課題解決の経験を自己の成長と結び付けて考えることができ、次の課題へ積極的に取り組もうとする(内面化)			
探究活動と他者や社会	互いの特徴を生かすなど、課題の解決に向けて探究活動に協同的に取り組もうとする(協同性) 異なる意見や他者の考えを受け入れながら探究活動に向き合い、互いを理解しようとする(他者理解) 探究的な課題解決が社会の形成者としての自覚へとつながり、積極的に社会活動へ参加しようとする(社会参画、社会貢献)			

知識

実社会の課題に関する事実的知識( )の獲得

概念的知識( )の形成

総合的な学習の時間で扱う内容は各学校において定めることとなっているため、知識の具体は各学校において異なる。

技能

課題設定のスキル

情報収集のスキル

思考のスキル

表現のスキル

(比較・分類・関連付け・多面的)

知識は、学校種が上がるほど高度化・構造化する

技能は、思考スキルを中核とし、学校種が上がるほど自覚化・脱文脈化する

# 探究のプロセスと育成すべき資質・能力の関係(案)

## 高等学校

	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現
学習方法	複雑な社会状況を踏まえて課題を設定する 仮説を立て、それに適合した検証方法を明示した計画を立案する	目的に応じて臨機応変に適切な手段を選択し、情報を収集する 必要な情報を広い範囲から迅速かつ効果的に収集し、多角的、实际的に分析する	複雑な問題状況における事実や関係を構造的に把握し、自分の考えを形成する 視点を定めて多様な情報から帰納的、演えきの的に考察する 事実や事実間の関係を比較したり、複数の因果関係を推理したりして考える	相手や目的、意図に応じて手際よく論理的に表現する 学習の仕方や進め方を内省し、現在及び将来の学習や生活に生かす
探究活動と自分自身	課題に真摯に向き合い、より適切な課題の解決に向けて探究活動に主体的に取り組もうとする(主体性)			
	自分の特徴を生かし当事者意識と責任感をもって探究活動に向き合い、計画的に着実に取り組もうとする(自己理解)			
	探究的な課題解決の経験の蓄積を課題解決への信念や自信、自己肯定へとつなげ、更に高次の課題に取り組もうとする(内面化)			
探究活動と他者や社会	互いを認め特徴を生かし合うなど、課題の解決に向けた探究活動に協同的に取り組もうとする(協同性)			
	異なる意見や他者の考えを受け入れながら探究活動に向き合い、互いを尊重し理解しようとする(他者理解)			
	探究的な課題解決の経験の蓄積が、自己有用感や実社会・実生活に貢献しようとする態度へとつながり、社会の形成者としてよりよい社会の実現に努めようとする(社会参画、社会貢献)			

知識

技能

実社会の課題に関する事実的知識( )の獲得

概念的知識( )の形成

学ぶことの意義や価値の理解

総合的な学習の時間で扱う内容は各学校において定めることとなっているため、知識の具体は各学校において異なる。

課題設定のスキル

情報収集のスキル

思考のスキル

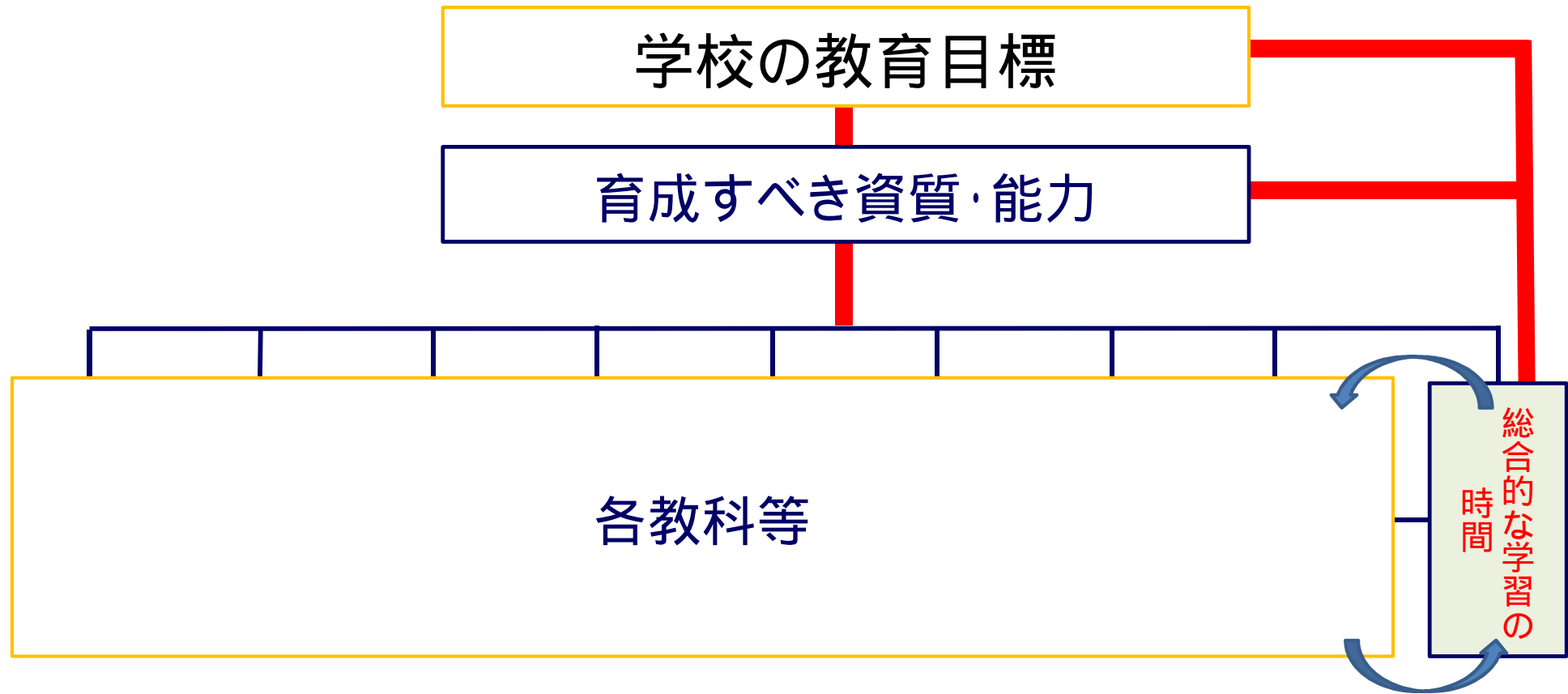
表現のスキル

(比較・分類・関連付け・多面的・構造的)

知識は、学校種が上がるほど高度化・構造化する

技能は、思考スキルを中核とし、学校種が上がるほど自覚化・脱文脈化する

## カリキュラム・マネジメントの実現



総合的な学習の時間の目標は、各学校が育てたいと願う児童生徒像や育てようとする資質や能力及び態度などを表現したものになることが求められるため、学校の教育目標と直接的につながる。

【カリキュラム・マネジメントの三つの側面】(教育課程企画特別部会論点整理より)

各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた教科横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していくこと。

教育内容の質の向上に向けて、子供たちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立すること。

教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせること。